

令和元年度「小学生の放課後の居場所」ワーキング部会 報告

開催日	日時：令和元年8月6日（火曜日）午前9時30分～11時30分 会場：さいわいプラザ 会議室
-----	--

出席者	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども・子育て会議委員（山川委員、宮下委員、長谷川委員、山岸委員） ・児童館長（岸六日市児童館長、久保田表町児童館長、大森宮内児童館長） ・児童館・児童クラブ・放課後子ども教室関係者（希望が丘コミセン主事 酒井氏、下塩児童クラブ 伊東氏） ・子育て団体（&mamaつなぎ 杉浦氏、Nagaokaみんなの子育てラボ 広川氏） ・事務局：青少年育成課
-----	--

内容	<p>『年齢期別の放課後の居場所って、どこがいい？』をテーマに、年齢期【低学年（小学1・2年）・中学年（小学3・4年）・高学年（小学5・6年）】別の子どもたちの特性を考え、どんな場所でどんな風にすごせたいかを話合いました。また、その際の問題点を見つけ、解決のための具体的な方策についても、一部検討しました。</p>
----	---



2グループに分かれて検討し、検討結果を発表

令和元年度「小学生の放課後の居場所」ワーキング部会 報告

低学年（小学1・2年生）
保育園・幼稚園とのつながり 大人の支援が必要
児童クラブ 児童館 放課後子ども教室 自宅 祖父母の家 友達の家 公園 (安心・安全な場所) (大人の見守りのあるところ)

中学年（小学3・4年生）
冒険心の芽生え 自分のやりたいことが出てくる
児童クラブ 児童館 放課後子ども教室 自宅 友達の家 公園・神社 部活・クラブ 習い事 地域

高学年（小学5・6年生）
小学校のまとめ役 中学生に向けての準備
自宅 友達の家 部活・クラブ・スポーツ少年団 習い事・塾 公園・神社・グラウンド 放課後子ども教室

【主な問題点・解決策】

自宅・友達の家・祖父母の家
<ul style="list-style-type: none"> 大人不在時のリスク（鍵・火等） 何をしているのかわからず不安。ゲーム漬けになりそう。 ⇒＜解決策＞家庭でルールをつくる <ul style="list-style-type: none"> 人とのふれあい不足（社会性を伸ばすためにも、同年齢の子どもとの関りが重要）

公園
<ul style="list-style-type: none"> 周辺住民の理解 防犯対策（不審者対応）

その他
<ul style="list-style-type: none"> 情報不足 ⇒＜解決策＞母子手帳・リーフレット活用 <ul style="list-style-type: none"> 1人で外出する際の事故と犯罪

【主な意見】

児童クラブ・児童館
<ul style="list-style-type: none"> 多様な子への対応で、専門知識が必要 ⇒＜解決策＞研修による習得 <ul style="list-style-type: none"> 職員不足・質の向上 ⇒＜解決策＞民間参入、高齢者活用等 <ul style="list-style-type: none"> 人数が多く、学年も異なり、ケガをする可能性がある ⇒＜解決策＞施設の運営方法の見直し <ul style="list-style-type: none"> 低学年は、屋外で体を使って遊ぶことが必要な時期なのに、児童館・クラブでは出来ず、決まった範囲のみの活動となっている。 ⇒＜解決策＞放課後子ども教室の実施 <ul style="list-style-type: none"> 中学年は、リーダー性を育てることが必要 ⇒＜解決策＞活動の中で役割を持たせる <ul style="list-style-type: none"> 年齢により、遊びの内容も異なる。高学年も参加できる行事の検討が必要 ⇒＜解決策＞運営内容の見直し、研修

○体験の重要性
<ul style="list-style-type: none"> 幸せな体験が、幸せな家庭をつくる。 場所より『ソフト』を大切に 子どもに考えさせ、工夫させる機会を
○子ども目線
<ul style="list-style-type: none"> 子どもは、何歳まで大人の思いどおりにコントロールしていくのがよいのか。 塾・習い事は、子の意志ではなく、大人の安心？ 子どもの気持ちに配慮される場所が必要 親・大人の都合と子どもの希望は違う 『一人』が好きな子の居場所も
○その他
<ul style="list-style-type: none"> 今は、親も子どもも余裕がない 保護者を育てる（親教育）必要がある 子どもとのルールと自由のバランスが大切